

2021 安全・安心推進支援事業による

新商品開発チャレンジ（沖縄フェア）

宮崎のさかなビジネス拡大協議会は、県産水産物の消費拡大と県内水産関連産業の活性化を図るために、ウィズコロナ・ポストコロナ下における新たなマーケットニーズに対応した新商品の開発にチャレンジする取り組みを支援しています。

今回は、その一例として県漁連の取り組みを紹介します。

1 事業の目的

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、多くの魚種が滞留し、生産者は多大な打撃を受けている。

特に養殖魚は、従来の出荷計画に基づいた販売が出来ずに、通常より養殖期間が長くなっている。結果、マダイやヒラメなどこれまでの商品サイズをオーバーする魚種を在庫として抱えている生産者が多くいる。

これまで、マダイ、ヒラメ等において、学校給食用としてサイコロ形にカットするなどして販売するなど、新しい消費開発に取り組んできた。

今回の調査では「サイズアップした養殖サーモンを試験販売し、消費者に受け入れられるか？」調査する。

2 新商品開発等の事業概要

(1) 新しく開発しようとする製品あるいは新たに取り組む販売方式の内容

○新しく開発しようとする製品

通常の出荷サイズよりもサイズアップした魚の販売にチャレンジする。

魚種：養殖サーモン 通常サイズ 2kg程度

試験販売サイズ 3kg台

(2) 実施スケジュール

○生産地との打合せ 8月1日～8月20日

○沖縄県内スーパー等との打合せ 8月15日～8月31日

○試験販売 9月1日～10月1日

(3) 実施状況レポート

スーパーで、幟、ポスターを掲示し積極的にアピールしながら販売した。

沖縄県内で通常売られているサーモンの約1.5倍ほど大きなサーモン切り身であるが、全く売れ

行きに問題なくむしろ好調である。

購入される方の意見としては、「大きなサーモンは高級なイメージがある。」「肉の色が良い」などの意見もあり、極めて好評価であった。

販売に協力していただいたスーパーからもこれからは扱って行ければとの要望を受けた。



試験販売した養殖サーモンのセミドレスと切り身

本試験は、10月も継続しており、消費者に受け入れられる適正単価や数量等を明らかにする。

今回は養殖サーモンで調査を実施したが、これは試金石となるもので、この結果は養殖マダイや養殖ヒラメなどへも広げていけるか検討するデータとして利用できる。

連絡先 宮崎のさかなビジネス拡大協議会(宮崎県漁業協同組合連合会内)

TEL:0985-28-6111

E-mail:tanaka@freshbrand.jp